

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
(沖縄)		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・気温の低下に伴い婦人服の動きが活発になった。物産展やファッションショー開催により、動員が強化できた。相変わらず、インバウンド効果で化粧品関連の動向が好調である。
		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・販売単価を上げて、それほど来客数は減っていない。収益もかなり良化している。
		一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	来客数の動き	・インバウンドの売上が安定している。
		スーパー（販売企画）	来客数の動き	・リニューアルを実施した1店舗が来客数を増やしたこと、不採算店舗を閉店したこと、一部の店舗においてチラシ販促を多くしたことにより客数を増やし、全体としても前年並みの客数となった。しかし一方で、コストは高くなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年より増えている。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・今月の客室稼働率の前年同月比は若干のプラス傾向にある。3か月前は前年実績を下回っていたが、今月は上回る見込みである。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・販売量から見て、取扱件数は確実に増えている。ただ、利益率の低い商品も数多く取り扱っているため、利益は微増である。
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	来客数の動き	・貸渡し件数は前年比110%と伸びており、特に旅行代理店からの県外観光客の数字が伸びている。今月も入域観光客が順調に推移しているものと予想される。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場者数が今年度で一番多く、3か月前と比べ48%増えている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数は月全体で見るとあまり変化はない。日によって多いときもあれば極端に少ないときもあり差が大きい。平均では横ばいである。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・観光関連、建築などは動きが良いように見える。店舗の補修を依頼しても、業者が忙しく、1か月くらい待たされている。しかし、飲食店舗は大衆居酒屋の再燃により低価格の勝負になっている。潰れる店舗も多いが、すぐ新しい店舗がオープンしている。
		観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・宿泊においては前年とほぼ変わらない来客数と売上。悪い数字ではない。飲食については、前年よりも来客数、売上共に減少しており、厳しい状態が続いている。近隣の客の財布のひもはまだ固い上に、近隣の飲食店が増えた。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・景気が良くなっているようには感じられない。
		住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・民間共同住宅や米軍向け賃貸住宅、さらには個人住宅、商業施設などバランスよく工事受注できている。契約済み未着工を含め、手持ち工事は既に44億円を超えている。
		x	商店街（代表者）	競争相手の様子
企業動向関連		-	-	-
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築住宅の申込棟数が3か月前に比べて増えた。
		*	*	*
(沖縄)		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事、民間工事共に減少している。
	x	-	-	-
雇用関連		-	-	-
	(沖縄)	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・今年度採用定員に達していない企業から、2次募集、3次募集の求人があるが、紹介できる人材がいらない。

	人材派遣会社 (総務担当)	求職者数の動き	・企業からの求人で、応募者が来ないとのことで派遣会社に依頼してくるケースが増加している。しかし、派遣会社への新規登録者も減少しているため紹介できず、成約できないことが非常に多い。
	求人情報誌製作 会社(編集室)	求人数の動き	・11月度の週平均件数は913件だった。8月の919件と比較するとわずかにマイナス6件だった。時期的に飲食関連の求人が減少している。
	職業安定所(企 画事業所部門 (求人))	雇用形態の様子	・有効求人倍率は依然高水準であるが、非正規雇用が多い。
	-	-	-
x	-	-	-